

au

Speed USB STICK ご利用にあたっての U01 注意事項

・本製品の取扱説明書として、同梱の「はじめてガイド」および「ご利用にあたっての注意事項」(本書)、auホームページで提供の「取扱説明書 詳細版」をご用意しております。また、本書ではこれらを総称して「取扱説明書」と表記します。

・本書の表記の金額は特に記載のある場合を除きすべて税抜です。

免責事項について

- ・地震・雷・風水害などの天災および当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失・誤用、その他異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- ・本製品の使用または使用不能から生ずる附随的な損害(記録内容の変化・消失、事業利益の損失、事業の中断など)に関して、当社は一切責任を負いません。
- ・『取扱説明書』の記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- ・当社が関与しない接続機器、ソフトウェアとの組み合わせによる誤動作などから生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- ・本製品の故障・修理・その他取り扱いによって、設定内容などが変化または消失することがありますか、これらにより生じた損害・逸失利益に関して、当社は一切責任を負いません。
- ・大切なデータはコンピュータのハードディスクなどに保存しておくことをおすすめします。万一、登録された情報内容が変化・消失してしまうことがあっても、故障や障害の原因にかかわらず当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- ・本製品は、WiMAX 2+ネットワーク環境でご使用になれますか、本製品の品質などに関するUQコミュニケーションズ株式会社が何ら保証するものではありません。

※本書を表す「当社」とは、以下の企業を指します。

発売元:KDDI(株)・沖縄セルラー電話(株)

輸入元:華為技術日本(株)

製造元:HUAWEI TECHNOLOGIES CO., LTD.

memo

○本書の内容の一部、または全部を無断転載することは、禁止されています。

○本書の内容に関して、将来予告なしに変更することがあります。

○本書の内容につきましては万全を期しておりますが、万一、ご不審な点や記載漏れなどお気付きの点がございましたら、ご連絡ください。

安全上のご注意(必ずお守りください)

- ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。また、お読みになった後は大切に保管してください。
- この「安全上のご注意」には、本製品を使用するお客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、守っていただきたい事項を記載しています。
- 各事項は以下の区分に分けて記載しています。

■ 表示の説明

危険	この表示は「人が死亡または重傷 ^(※1) を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容」を示しています。
警告	この表示は「人が死亡または重傷 ^(※1) を負うことが想定される内容」を示しています。
注意	この表示は「人が軽傷 ^(※2) を負うことが想定される内容や物的損害 ^(※3) の発生が想定される内容」を示しています。

※1 重傷:失明・けが・やけど(高温・低温)・感電・骨折・中毒などで後遺症が残るもの、および治療に入院や長期の通院を要するものを指します。

※2 軽傷:治療に入院や長期の通院を要しない、けが・やけど(高温・低温)・感電などを指します。

※3 物的損害:家屋・家財および家畜・ペットにかかる拡大損害を指します。

■ 図記号の説明

	禁止(してはいけないこと)を示す記号です。
	分解してはいけることを示す記号です。
	濡れた手で扱ってはいけることを示す記号です。

■ 本体・au Micro IC Card (LTE)、USB延長ケーブル(試供品)共通

!**危険** 必ず下記の危険事項をお読みになってからご使用ください。

- 必ず指定の周辺機器をご使用ください。指定の周辺機器以外を使用した場合、発熱・発火・破裂・故障の原因となります。
- 高温になる場所(火のそば、暖房器具のそば、こたつの中、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など)で使用、保管、放置しないでください。発火・破裂・故障・火災・傷害の原因となります。
- ガソリンスタンドなど、引火性ガスが発生する場所に立ち入る場合は、必ず事前に本製品をパソコンから取り外し、パソコンの電源をお切りください。ガスに引火するおそれがあります。
- 電子レンジなどの加熱調理器や高圧容器に入れないでください。発火・破裂・故障・火災・傷害の原因となります。
- 火の中に投入したり、加熱したりしないでください。発火・破裂・火災の原因となります。
- 接続端子をショートさせないでください。また、接続端子に導電性異物(金属片・鉛筆の芯など)が触れたり、内部に入らないようにしてください。発熱による火災・故障・やけどの原因となります。
- 金属製のアクセサリーなどをご使用になる場合は、接続端子に触れないように十分ご注意ください。感電・発火・傷害・故障の原因となります。
- お客様による分解や改造、修理をしないでください。故障・発火・感電・傷害の原因となります。万一、改造などにより本製品やパソコンなどに不具合が生じても当社では一切の責任を負いかねます。本製品の改造は電波法違反になります。
- USB延長ケーブル(試供品)を傷つけたり、加工したり、ねじったり、引っ張ったり、重いものを載せたりしないでください。また、傷んだUSB延長ケーブル(試供品)は使用しないでください。感電・電子回路のショート・火災の原因となります。

!**警告** 必ず下記の警告事項をお読みになってからご使用ください。

- 落下させる、投げつけるなどの強い衝撃を与えないでください。破裂・発熱・発火・故障の原因となります。
- 屋外で雷鳴が聞こえたときは使用しないでください。落雷・感電のおそれがあります。
- 接続端子に手や指など身体の一部が触れないようにしてください。感電・傷害・故障の原因となる場合があります。
- 本製品が落下などによって破損し、機器内部が露出した場合、露出部に手を触れないでください。感電したり、破損部でけがをする場合があります。auショップまたは安心ケータイサポートセンターまでご連絡ください。
- 水などの液体をかけないでください。また、水やペットの尿などが直接かかる場所や風呂場など湿気の多い場所での使用、または濡れた手での使用は絶対にしないでください。感電や電子回路のショート・腐食による故障の原因となります。万一、液体がかかってしまった場合には直ちにパソコンから抜いてください。水漏れや湿気による故障は、保証の対象外となりて有償修理になります。
- 自動車や原動機付自転車、自転車などの運転中や歩きながらの操作はしないでください。安全性を損ない、事故の原因となります。
- 乳幼児の手が届く場所には置かないでください。小さな部品などの誤飲で窒息したり、誤って落下させたりするなど、事故や傷害の原因となる場合があります。

!**注意** 必ず下記の注意事項をお読みになってからご使用ください。

- 直射日光の当たる場所(自動車内など)や高温になる場所、極端に低温になる場所、湿気やほこりの多い場所に保管しないでください。発熱・発火・変形・故障の原因となる場合があります。
- ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所に置かないでください。落下してけがや破損の原因となります。また、衝撃などにも十分ご注意ください。
- 使用中に、布団などで覆ったり、包んだりしないでください。火災・故障・傷害の原因となります。
- 外部から電源が供給されている状態の本体に長時間触れないでください。低温やけどの原因となる場合があります。
- 本製品を長時間ご使用になる場合、特に高温環境では熱くなることがありますので、ご注意ください。長時間肌に触れたまま使用していると、低温やけどの原因になる場合があります。
- 腐食性の薬品のそばや腐食性ガスの発生する場所に置かないでください。故障・内部データの消失の原因となります。
- 本体から背面カバーを外したまま、放置・保管しないでください。内部にはこりなどの異物が入ると故障の原因となります。
- 使用中に煙が出たり、異臭や異音がする、過剰に発熱しているなどの異常が起きたときは使用をやめてください。パソコンから取り外し、熱くないことを確認してから、auショップまたは安心ケータイサポートセンターまでご連絡ください。また、落下してけがや破損した場合なども、そのまま使用せず、auショップまたは安心ケータイサポートセンターまでご連絡ください。
- 外部機器などをお使いになるときは、接続する端子に対してコネクタをまっすぐに抜き差してください。正しい方向で抜き差ししないと、破損・故障の原因となります。

■ 本体について

!**警告** 必ず下記の警告事項をお読みになってからご使用ください。

- 自動車・原動機付自転車・自転車運転中に本製品を使用しないでください。交通事故の原因となります。自動車・原動機付自転車運転中の本製品の使用は法律で禁止されています。また、自転車運転中の本製品の使用も法律などで罰せられる場合があります。
- 航空機内での使用については制限があるため、各航空会社の指示に従ってください。
- 航空機の電子機器に悪影響を及ぼす原因となります。なお、航空機内での使用において禁止行為をした場合、法令により罰せられることができます。
- 病院での使用については、各医療機関の指示に従ってください。電子機器や医用電気機器に悪影響を及ぼす原因となります。

!**高精度な電子機器の近くでは、本製品を使用しないでください。電子機器に影響を与える場合があります。(影響を与えるおそれがある機器の例:心臓ベースメーカー・補聴器・その他医用電気機器・火災報知機・自動ドアなど。医用電気機器をお使いの場合は機器メーカーまたは販売者に電波による影響についてご確認ください。)**

!**植込み型心臓ベースメーカーおよび植込み型除細動器や医用電気機器の近くで本製品を使用する場合は、電波によりこれらの装置・機器に影響を与えるおそれがありますので、次のことをお守りください。**

- 1. 植込み型心臓ベースメーカーおよび植込み型除細動器の装着部位から15cm以上離して携行および使用してください。
- 2. 身動きが自由に取れない状況など、15cm以上の離隔距離が確保できないおそれがある場合、付近に植込み型心臓ベースメーカーおよび植込み型除細動器を装着している方がいる可能性がありますので、本製品を使用しないでください。
- 3. 医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従ってください。
- 4. 医療機関の外で、植込み型心臓ベースメーカーおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合(自宅療養など)は、電波による影響について個別に医療用電気機器メーカーなどにご確認ください。

!**注意** 必ず下記の注意事項をお読みになってからご使用ください。

!**自動車内で使用する場合、まれに車載電子機器に影響を与える場合があります。安全走行を損なうおそれがありますので、その場合は使用しないでください。**

!**皮膚に異常を感じたときには直ちに使用を止め、皮膚科専門医にご相談ください。お客様の体质・体調によっては、かゆみ・かぶれ・湿疹などを生じる場合があります。本製品で使用している各部品の材質は次の通りです。**

■ Speed USB STICK本体

使用箇所	使用材質<表面処理>
外装ケース(正面)	PC+ABS<塗装>
外装ケース(側面)	PC+9%GF<塗装>
外装ケース(金属部)	ベリリウム銅
背面カバー	PC+ABS<塗装>
ランプカバー	PC
ラベル	3M7815
USBコネクタ	ステンレスSUS304
USBコネクタ外装ケース	PC+ABS<塗装>
ネジラベル	PET/PC + TESA 4965

■ USB延長ケーブル(試供品)

使用箇所	使用材質<表面処理>
本体	PVC
USBコネクタ	銅合金+銅メッキ

!**USBコネクタに液体、金属片、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。火災・感電・故障・傷害の原因となります。**

!**砂浜などの上に直に置かないでください。本製品本体内に砂などが混入すると発熱や故障の原因となります。**

!**通信中などの使用中は、本体が熱くなることがありますので、長時間直接肌に触れさせたり、紙・布・布団などをかぶせたりしないでください。火災・傷害・故障の原因となる場合があります。**

!**本製品のUSBコネクタを引き出す際は、指などを挟まないようにご注意ください。けがなどの事故の原因となります。**

■ au Micro IC Card (LTE)について

!**警告** 必ず下記の警告事項をお読みになってからご使用ください。

!**電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器にau Micro IC Card (LTE)を入れないでください。溶損・発熱・発煙・データの消失・故障の原因となります。**

!**注意** 必ず下記の注意事項をお読みになってからご使用ください。

!**au Micro IC Card (LTE)の取り付け・取り外しの際にご注意ください。手や指を傷付ける可能性があります。**

!**au Micro IC Card (LTE)を使用する機器は、当社が指定したものをご使用ください。指定品以外のものを使用した場合はデータの消失や故障の原因となります。指定品については、auショップもしくはお客さまセンターまでお問い合わせください。**

!**au Micro IC Card (LTE)を分解、改造しないでください。データの消失・故障の原因となります。**

!**au Micro IC Card (LTE)を火のそば、ストーブのそばなど、高温の場所で使用、放置しないでください。溶損・発熱・発煙・データの消失・故障の原因となります。**

!**au Micro IC Card (LTE)を火の中に入れたり、加熱したりしないでください。溶損・発熱・発煙・データの消失・故障の原因となります。**

!**au Micro IC Card (LTE)のIC(金属)部分を不用意に触れたり、ショートさせたりしないでください。データの消失・故障の原因となります。**

!**au Micro IC Card (LTE)を落としたり、衝撃を与えたりしないでください。故障の原因となります。**

!**au Micro IC Card (LTE)を折ったり、曲げたり、重い物を載せたりしないでください。故障の原因となります。**

!**au Micro IC Card (LTE)を濡らさないでください。故障の原因となります。**

!**au Micro IC Card (LTE)のIC(金属)部分を傷付けないでください。故障の原因となります。**

!**au Micro IC Card (LTE)はほこりの多い場所には保管しないでください。故障の原因となります。**

!**au Micro IC Card (LTE)保管の際には、直射日光が当たる場所や高温多湿な場所には置かないでください。故障の原因となります。**

!**au Micro IC Card (LTE)はほこりの多い場所には保管しないでください。故障の原因となります。**

■著作権について

●お客様が本製品でインターネット上からダウンロードなどで取得したデータの全部または一部が、第三者の有する著作権で保護されている場合、個人で楽しむなどの他は、著作権法により、権利者に無断で複製、頒布、公衆送信、改変などはできません。また、他人の肖像や氏名を無断で使用・改変などをする肖像権の侵害となるおそれがありますので、そのようなご利用をお控えください。

■本製品の記録内容の控え作成のお願い

●ご自分で本製品に登録された内容で、重要なものは控えをお取りください。本製品のメモリは、静電気・故障などの不測の要因や、修理・誤った操作などにより、記録内容が消えたり変化する場合があります。

※控え作成の手段：本製品の設定内容をパソコンにバックアップすることができます。詳しくは、「取扱説明書 詳細版」を参照してください。ただし、上記の手段でも控えが作成できないデータがあります。あらかじめ、ご了承ください。

■PINコードについて

■PINコード

●第三者によるau Micro IC Card (LTE)の無断使用を防ぐために、パソコンに接続するたびにPINコードの入力を必要にすることができます。また、PINコードの入力要否を設定する場合にも入力が必要となります。

●PINコードは3回連続で間違えるとコードがロックされます。ロックされた場合は、PINロック解除コードを利用して解除できます。

※お買い上げ時のPINコードは「1234」、入力要否は「無効にする」(入力不要)に設定されていますが、お客様の必要に応じてPINコードは4~8桁のお好きな番号、入力要否は「有効にする」(入力必要)に変更できます。

※PINコードは本製品のリセットを行ってもリセットされません。

■PINロック解除コード

●PINコードがロックされた場合に入力することでロックを解除できます。

※PINロック解除コードは、au Micro IC Card (LTE)が取り付けられていたプラスティックカード裏面に印字されている8桁の番号で、お買い上げ時にはすでに決められています。

※PINロック解除コードを入力した場合は、「PINコード管理」で新しくPINコードを設定してください。

※PINロック解除コードを10回連続で間違えた場合は、auショップ・PiPitもしくはお客さまセンターまでお問い合わせください。

■付属ソフトウェアに関するご注意

本製品に付属のソフトウェアのご使用にあたり、下記の事項にご注意ください。

●お客様には、本ソフトウェアの使用権のみが譲渡されます。著作権が移転するものではありませんので、第三者への譲渡・販売などはできません。

●本ソフトウェアのコピーは、保管(バックアップ)の目的のみ許可されます。他人への譲渡・販売などの目的でコピーすることはできません。

●本ソフトウェアのご使用にあたり、生じたお客様の損害および第三者からのお客様に対する損害の請求については、当社はその一切の責任を負いません。

■アフターサービスについて

■修理を依頼されるときは

修理については安心ケータイサポートセンターまでお問い合わせください。

保証期間中 保証書に記載されている当社無償修理規定に基づき修理いたします。

保証期間外 修理により使用できる場合はお客様のご要望により、有償修理いたします。

●メモリの内容などは、修理する際に消えてしまうことがありますので、控えておいてください。なお、メモリの内容などが変化・消失した場合の損害および逸失利益につきましては、当社では一切責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

●修理の際、当社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。

●交換用端末お届けサービスにて回収した今までお使いのauの端末は、再生修理した上で交換用端末として再利用します。また、auアフターサービスにて交換した機械部品は、当社にて回収しリサイクルを行います。そのため、お客様へ返却することはできません。

■補修用性能部品について

当社はこのSpeed USB STICK U01本体およびその周辺機器の補修用性能部品を、製造終了後4年間保有しております。

補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■保証書について

保証書は、お買い上げの販売店で、「販売店名、お買い上げ日」などの記入をご確認のうえ、内容をよくお読みいただき、大切に保管してください。

■安心ケータイサポートプラスLTEについて

auの端末を長期間安心してご利用いただくために、月額会員アフターサービス制度「安心ケータイサポートプラスLTE」をご用意しています(月額380円、税抜)。故障や盗難・紛失など、あらゆるトラブルの補償を拡大するサービスです。本サービスの詳細については、auホームページをご確認いただくか、安心ケータイサポートセンターへお問い合わせください。

●ご入会は、auの端末のご購入時のお申し込みに限ります。
●ご退会された場合は、次回のauの端末のご購入時まで再入会はできません。
●機種変更・端末増設などをされた場合、最新の販売履歴のあるauの端末のみが本サービスの提供対象となります。
●auの端末を譲渡・承継された場合、安心ケータイサポートプラスLTEの加入状態は譲受者に引き継がれます。
●機種変更・端末増設などにより、新しいauの端末をご購入いただいた場合、以前にご利用のauの端末に対する「安心ケータイサポートプラス」「安心ケータイサポートプラスLTE」は自動的に退会となります。
●サービス内容は予告なく変更する場合があります。

■au Micro IC Card (LTE)について

au Micro IC Card (LTE)は、auからお客様にお貸し出したものになります。紛失・破損の場合は、有償交換となりますので、ご注意ください。なお、故障と思われる場合、盗難・紛失の場合は、auショップもしくはPiPitまでお問い合わせください。

■アフターサービスについて

アフターサービスについて不明な点がございましたら、下記の窓口へお問い合わせください。

お客様センター(紛失・盗難時の回線停止のお手続きについて)

一般電話からは **0077-7-113** (通話料無料)

au電話からは 局番なしの113(通話料無料)

受付時間 24時間(年中無休)

安心ケータイサポートセンター(紛失・盗難・故障について)

一般電話／au電話からは **0120-925-919** (通話料無料)

受付時間 9:00～21:00(年中無休)

オンライン修理受付(24時間受付)

※パソコン・スマートフォンからのみ受付可能

https://cs.kddi.com/support/n_login.html

・インターネット受付でのお申し込みは、「破損」「水濡れ」「盗難」「紛失」の場合が対象となります。自然故障(破損、水濡れなどの原因ではないが起動しないなど)の場合は、問診が必要なためお電話での受付となります。

・インターネットでのお申し込みには、メールアドレスが必要です。

■auアフターサービスの内容について

サービス内容		安心ケータイサポートプラスLTE	
		会員	非会員
交換用携帯電話機お届けサービス	自然故障	1年目 無料	お客様負担額 1回目: 5,000円 2回目: 8,000円
	2年目以降		
預かり修理	部分破損、水濡れ、全損、盗難、紛失	無料	補償なし
	自然故障	1年目 無料	
	2年目以降	無料(3年保証)	実費負担
	部分破損	お客様負担額 上限5,000円	
	水濡れ、全損	お客様負担額 10,000円	
	盗難、紛失	補償なし	(機種変更対応)

※金額はすべて税抜

交換用端末お届けサービス

・auの端末がトラブルにあわれた際、お電話いただくことでご指定の送付先に交換用端末(同一機種・同一色)をお届けします。故障した今までお使いのauの端末は、交換用端末がお手元に届いてから14日以内にご返却ください。

・本サービスをご利用された日を起算日として、1年間に2回までご利用可能です。本サービス申し込み時ににおいて過去1年以内に本サービスのご利用がない場合は1回目、ご利用がある場合は2回目となります。

※詳細は、auホームページをご確認ください。

預かり修理

・お客様の故意・改造(分解改造・部品の交換・塗装など)による損害や故障の場合は補償の対象となりません。

・外装ケースの汚れや傷、塗装の剥れなどによるケース交換は割引の対象となりません。

■データ通信端末の比吸収率(SAR)について

この機種は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合しています。

このデータ通信端末は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準(※)ならびに、これと同等な国際ガイドラインが推奨する電波防護の許容値を遵守するよう設計されています。この国際ガイドラインは世界保健機関(WHO)と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会(ICNIRP)が定めたものであり、その許容値は使用者の年齢や健康状況に関係なく十分な安全率を含んでいます。

国際技術基準および国際ガイドラインは電波防護の許容値を人体に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率(SAR: Specific Absorption Rate)で定めています。本データ通信端末に対するSARの許容値は2.0W/kgです。このデータ通信端末を本取扱説明書に記述する通常使用の場合のSARの最大値は0.669W/kgです。個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。

データ通信端末は、携帯電話等基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通信している状態では、通常SARはより小さい値となります。一般的には、基地局からの距離が近いほど、データ通信端末の出力は小さくなります。

通信中は、身体から1.5センチ以上離し、かつその間に金属(部分)が含まれないようにしてください。このことにより、本データ通信端末が国の技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合していることを確認しています。

世界保健機関は、「携帯電話が潜在的な健康リスクをもたらすかどうかを評価するために、これまで20年以上にわたって多数の研究が行われてきました。今日まで、携帯電話使用によって生じるとされる、いかなる健康影響も確立されていません。」と表明しています。

さらに詳しい情報をお知りになりたい場合には世界保健機関のホームページをご参照ください。

http://www.who.int/docstore/peh-emf/publications/facts_press/fact_japanese.htm

SARについて、さらに詳しい情報をわかりになりたい方は、下記のホームページをご参照ください。

○総務省のホームページ:

<http://www.tele.soumu.go.jp/j/ele/index.htm>

○一般社団法人電波産業会のホームページ:

<http://www.arib-emf.org/index02.html>

○HUAWEI TECHNOLOGIES CO.,LTD.のホームページ:

<http://consumer.huawei.com/jp/mobile-broadband/support/information/hwd32-jp.htm>

○auのホームページ:

<http://www.au.kddi.com/>

※技術基準については、電波法関連省令(無線設備規則第14条の2)で規定されています。

Reduction of hazardous substances

This device is compliant with the REACH Regulation [Regulation (EC) No 1907/2006] and RoHS Directive Recast (Directive 2011/65/EU). Batteries (if included) are compliant with the Battery Directive (Directive 2006/66/EC). For up-to-date information about REACH and RoHS compliance, please visit the web site www.huaweidevice.com/certification.

EU regulatory conformance

■RF exposure requirements

Important safety information regarding radio frequency (RF) radiation exposure:

RF exposure guidelines require that the device be used at a minimum of 1.5 cm from the human body. Failure to observe this guideline may result in RF exposure exceeding limits.

■Certification information (SAR)

This device meets guidelines for exposure to radio waves.

Your device is a low-power radio transmitter and receiver. As recommended by international guidelines, the device is designed not to exceed the limits for exposure to radio waves. These guidelines were developed by the International Commission on Non-Ionizing Radiation Protection (ICNIRP), an independent scientific organization, and include safety measures designed to ensure the safety of all users, regardless of age and health.

The Specific Absorption Rate (SAR) is the unit of measurement for the amount of radio frequency energy absorbed by the body when using a device. The SAR value is determined at the highest certified power level in laboratory conditions, but the actual SAR level during operation can be well below the value. This is because the device is designed to use the minimum power required to reach the network.

The SAR limit adopted by Europe is 2.0 W/kg averaged over 10 grams of tissue, and the highest SAR value for this device complies with this limit.

■Statement

Hereby, Huawei Technologies Co., Ltd. declares that this device is in compliance with the essential requirements and other relevant provisions of Directive 1999/5/EC.

For the declaration of conformity, visit the web site www.huaweidevice.com/certification.

The following marking is included in the product:

CE 0197

This device may be operated in all member states of the EU.

Observe national and local regulations where the device is used.

This device may be restricted for use, depending on the local network.

FCC Regulatory Compliance

■RF exposure requirements

Important safety information regarding radio frequency (RF) radiation exposure:

RF exposure guidelines require that the device be used at a minimum of 0.5 cm from the human body. Failure to observe this guideline may result in RF exposure exceeding limits.

■Certification information (SAR)

This device is also designed to meet the requirements for exposure to radio waves established by the Federal Communications Commission (USA).

The SAR limit adopted by the USA is 1.6 W/kg averaged over one gram of tissue. The highest SAR value reported to the FCC for this device type complies with this limit.